

# いい人がお金で困らない 仮想通貨

—新時代のルール—

Vol.6

「新資本主義」が始まる！  
僕たちはICO支援事業を立ち上げる

text by Gen Matsuda

文 松田 元

株式会社OKWAVE(オウケイウェイヴ)は現会長兼元兼任が1999年(平成11年)に設立したユーザー同士がQ&Aで問題解決して助け合う、日本初、最大級のQ&Aサイトを運営しています。

OKWAVEの「O」は「教えて」(oshiete)、「K」は「答える」(kotaeeru)で、「教えて質問」と「答える回答」を併せています。

「互い助け合いの場の創造」を通して物心両面の幸福を実現し、世界の発展に寄与することを理念にした会社です。

このOKWAVEは、現在、ICO支援やブロックチェーンの事業化に取り組んでいるシンガポールのIT企業Wowo(ワオ)と、協業

が477億円で、売り上げ35億円、利益12億円になりました。

しかし、それでもOKWAVEが事業を通じて実現させ、追い求めてきた素晴らしい理念に、この時価総額が見合っているとは思えません。最低でも時価総額1兆円はないとおかしい。このミスプライスも、現代の資本主義社会における理不尽さの表れだと考えています。

OKWAVEには、日米合わせて1650万人のユーザーがいて、累積で4600万件の「ありがとう」が、ポイントを通じて贈られました。

では、ユーザーは質問に答えたら何かもらえるのかというと、一円も、一セントももらえません。つまり、ユーザーたちが非常に意識の高い状態を張りめぐらせながら、ひとつのメディアを築き上げてきた証だといえるのです。

しかし、せっかくなので、個々のユーザーの努力が具体的な形になって、それぞれの好意が報われるようになればいいですね。

兼元さんは、ビットコインが出てくるずっと前から、OKWAVEの中でいち早くQ&Aのお礼を「ありがとうポイント」としてサイト上で流通させ、たくさんの方がどうポイントを集めた人がレベルアップできる(評価、表彰される)ようにしました。この着想は天才的です。ただ、この「ありがとうポイント」を実社

パートナーの関係を結んでいます。OKWAVEは子会社を通してWowoに出資して、株式を一部譲り受けることを条件に、人的支援・事業開発の支援を行っている状態です。Wowoはすでに、ICOを計画している企業に対して相談に乗るコンサルティングを行っていました。これからの時代は、ベンチャー企業を中心に、ICOで資金調達を希望する件数も増えていくに違いありません。

そこで、コンサルティングだけでなく、ICOトークンの購入者を募集したり、トークンを取引したりする場としての「ICOプラットフォーム」というユースケースを立ち上げると考えた。

ICOを実行する企業が集まる場を提供できれば、そこにはICOに関する生の最新情報やノウハウもたくさん集積されることでしょう。

よって、コンサルティングにも役立ちますし、世間に広く共感される新たなブロックチェーンのユースケースを自分たちで発信できます。Wowoは、すでに「Wowbit」(ワオビット)という独自のICOトークンを発行しています。

## 「ありがとうポイント」を「仮想通貨」に置き換えた

OKWAVEには質問に回答を出してくれたユーザーに対するお礼と

会のルール上で流通させようとする、無理がある。その事実も否定できません。換金できませんから。

ありがとうポイントを仮に日本円で換算できたとしても、せいぜい数十円とか数百円の単位です。「ありがとうポイント」を日本円に換金したり、送金したりできるシステムを作っても、手数料だけで同等以上の負担を強いられてしまいます。

つまり、法定通貨を基にした資本主義経済を前提にしているのは、OKWAVE上での親切的な行為だけで暮らしていくという構想は、絵に描いた餅にしかありません。

しかし、僕や兼元さんが、ICOや仮想通貨、ブロックチェーンの本質を知ることによって、従来の社会の中で噛み合わなかった、いくつもの歯車がいよいよ噛み合い、同じ方向に回り始めようとしています。

現在、OKWAVEではビットコインの送金によっても、回答へのお礼が出来るようになっていきます。

しかし、ビットコインは現在、利用者の増加に旧式のシステムがついていけず、送金手数料が高騰しています。国境を超えてビットコインを送るのであれば、銀行を通じて送ると大差ない状況になっています。

ビットコインはある側面、法定通貨よりも不便な代物に成り下がっておりには行かない現実が横たわっているのです。

して「ありがとうポイント」が贈られています。Q&Aサイトという仮想空間の中で、困った人に親切にする気持ちと、その気持ちに応える返礼が日本中で、そして国境を超えてやりとりされておき、素朴さや温かさに満ちています。

そして、ビットコインはまだ「知る人ぞ知る」ものだった頃から、ビットコインを送りあえる機能を実装していたOKWAVE創業者、当時の兼任社長と話し合いました。

「もし、ありがとうポイントを仮想通貨に置き換えたなら、今よりもっと素晴らしい世の中ができるのではないかと。」

インターネットの空間で実現させてきたOKWAVEの兼任社長でした。だから、ありがとうポイントを実際の資本主義社会でも回るようにすれば、これらの助け合いがもつと価値ある営みになるはず。僕たちは、このアイデアを通じて意気投合しました。

「もう少し、ちゃんとした生活をしている人へ、ちゃんとお金が回る社会にならないだろうか」と……。

OKWAVEは、僕が参画する前には、時価総額は40億円でした。売り上げは25億円で、うち、利益は1億円。それがただ単に、今までOKWAVEがやってきたことを、ブロックチェーンのビジネスに置き換える計画を発表して進めていたら、賛同者が集まってきて、今では時価総額

そこで、OKWAVEでは、ビットコインよりも便利な仮想通貨を独自に流通させることにしました。今まで「ありがとうポイント」として付与されていたものに代わって、OKWAVEで流通するトークンを実装すればいいのです。そのトークンは、Wowbitかもしれませんし、将来的にはまた別のトークンが出てくるかもしれません。

「いや、面白そうな質問だったから好意で答えただけで、お金を受け取るのは潔しと思わない」と思うユーザーは、トークンを別の人に寄付すればいいのです。

その他、OKWAVEコミュニティに対して、どのユーザーがどの程度の貢献を行っているかが、目に見える形で共有されることになります。このブロックチェーンを応用すれば、「いい人がお金に困らない」、人類の目指すべき理想的な社会に近づけるはず。



「いい人がお金に困らない」仮想通貨 新時代のルール (KKロングセラーズ) 定価・本体1300円+税 好評発売中



## Profile

実業家、投資家。  
早稲田大学商学部卒業。在学中より学生ベンチャーを創業。  
同時期、複数のベンチャー企業におけるインキュベーションを実施。  
卒業前の2006年2月、アズ株式会社を創業。  
現職は、株式会社オウケイウェイヴ代表取締役社長、OKfinc LTD. CEO、Wowo Pte.の事業・技術開発支援を担う。